授業科目	子どもの健康と安全					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	田中　沙織						
授業概要	保育において、子どもの健康及び安全の確保は、子どもの生命の保持と健やかな生活の基本である。子どもが、自らの体や健康に関心をもち、心身の機能を高めていくための、衛生管理、事故防止、安全対策のほか、救急処置、感染症の予防など保健的対応の基本について解説する。また、新しい保育所保育指針から記述が増えているアレルギーや災害への備えについても適切な対応について学んでいく。						
授業形態	演習			授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、実技演習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解し、保育における衛生管理、事故防止、危機管理、災害対策について具体的技術を獲得する。(DP1-2、DP2-2) 2. 保育における感染症対策について理解し、子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に学ぶ。(DP3-2) 3. 子どもの発達や状態に即した適切な対応について理解した上で、子どもの健康や安全の管理に関する実施体制や保健活動の計画及び評価について学ぶ。(DP1-2、DP5-2)
理想的レベル	1. 子どもの健康及び、安全に係る保健活動の具体的計画を立てることができ、それに応じた評価を考えることができる。 2. 子どもの健康増進、身心の発育を促すため、救急時の対応や事故防止、疾病への適切な対応と予防、安全管理について具体的に学び実践できる。 3. 現代社会における心の問題や、地域保健活動を理解し他業種や専門職との連携のとり方を考えることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	30%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	40%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21611J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：該当部分の予習（30 分） 復習:1 年次の子どもの保健で学習した内容と照らし合わせ本時の学習内容をまとめる(60 分)	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション・子どもの健康と保育環境（田中沙織） 生活しやすい園内環境について、危機管理や事故防止の観点から考える（ディスカッション）。

第 2 回	テーマ：子どもの健康と安全と保育所保育指針①（田中沙織） 保育所保育指針第 3 章に記載されている子どもの健康と安全の内容について学び、子どもや保育所に関連するガイドラインや近年のデータを用いて基礎的な理解を深めていく。
第 3 回	テーマ：子どもの健康と安全と保育所保育指針②（田中沙織） 保育所保育指針第 3 章に記載されている子どもの健康と安全の内容についてプレゼンテーションを行う。
第 4 回	テーマ：衛生管理（田中沙織） 保育所における望ましい衛生環境と職員の衛生管理について解説する。
第 5 回	テーマ：災害への備え（田中沙織） 保育中に起きる災害について事例をもとに検討し、必要な備えと災害が起きたときの対応について学ぶ（グループワーク）。
第 6 回	テーマ：　　保健活動の計画と評価について（田中沙織） 保育における健康管理の意義と健康観察の観点について学習する。
第 7 回	テーマ：子どもの保健に係る個別対応と集団全体の健康安全管理について（田中沙織） 保育における健康管理の意義と健康観察の観点について学習する。
第 8 回	テーマ：感染症の集団発生の予防について（田中沙織） 感染症の基礎知識を学び予防のための保健的対応について考える。
第 9 回	テーマ：　　感染症発生時と罹患後の対応について（田中沙織） 感染症の基礎知識を学び、嘔吐物の処理法を実践する。
第 10 回	テーマ：　　体調不良や傷害が発生した場合の実際の処置について①（一時救命、異物除去）（田中沙織） 一時救命、異物除去に求められる保健的対応について概観し、保育士に求められる技術について解説する。 子どもの事故とけが 事故発生時の対応
第 11 回	テーマ：　　体調不良や傷害が発生した場合の実際の処置について②（応急処置、体調不良時の対応）（田中沙織） 応急処置、体調不良時の対応と保育士に求められる技術について解説する。 バイタルサインの測定と応急処置の実施の演習を行う。
第 12 回	テーマ：3 歳未満児への適切な対応（与薬・食事の介助）（田中沙織） 3 歳未満児の発達特徴と保育士に求められる技術について解説する。
第 13 回	テーマ：個別的な配慮を要する子どもへの保健的対応について（慢性疾患、アレルギ 一性疾患等）、障害のある子どもへの保健的対応について（田中沙織） 個別的な配慮を必要とする疾患、アレルギー疾患を持つ子どもへの配慮・対応について解説し、発達障害のある子どもたちの支援方法について学ぶ。
第 14 回	テーマ：職員間の連携（田中沙織） 子どもの健康と安全を守るための保育所の中における連携の方法について考える。
第 15 回	テーマ：保育における組織的取組について（家庭・専門機関・地域との連携）（田中沙織） 子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携について考える。 保健技術の確認とまとめのレポートを実施する。
テキスト	授業で現場で役に立つ！ 子どもの健康と安全 演習ノート

	診断と治療社；第 2 版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	課題シートについては評価を行いコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	前年度後期に学習した「子どもの保健」についてもう一度復習し、理解を深めておいてください。教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。 本授業は演習を多く行うため、欠席した際には授業内容や必要な資料について自主的に尋ねること。また演習の際には動きやすい服装や髪形に留意して参加してください。